平成21年度第2回中央区地域福祉計画推進協議会議事要旨

- 1 日 時：平成21年10月13日（火）午前10時～12時
- 2 場 所：中央保健福祉センター大会議室（きぼ一 11階）
- 3 出席者：委員28名中18名出席（欠席委員10名）
- 4 事務局：9名

1 開 会

- 2 挨拶：武井委員長

3 議 題

- (1) 区地域福祉計画の推進状況について
- (2) 千葉市地域福祉推進モデル事業の実践例の報告について
- (3) 区地域福祉計画の見直しについて
 - ① 作業部会での見直し検討状況について
 - ② 新たな提案について
- (4) その他
 - ① 次回開催日程について
 - ② 今年度の地域福祉計画推進協議会だよりについて
 - ③ 千葉県地域福祉フォーラム設置支援事業について

4 閉 会

議題（1）区地域福祉計画の進捗状況について

※事務局（市保健福祉総務課）から、配布資料1「中央区地域福祉計画の推進状況：①計画推進に向けて実践されている項目、②計画に合致していないが、関連して実践されている項目、③実践事例の情報提供が無い・または未実施の項目」について説明。

- ・各関係者（社協地区部会等）から提供いただいた34事業の追加情報を、資料に加えたので、「具体的な取り組みの実践事例」を報告。

（1）①計画推進に向けて実践されている項目

5＝見守り体制をつくる

- ・生浜地区部会「地域で誰でも安心・安全に住み良いまちづくりフォーラム開催」（福祉マップ、安心福祉カードづくり）
- ・白旗台地区部会「福祉マップ・安心福祉カードの作成」

6＝小地域防災活動

- ・蘇我地区部会内自治会「自主防災組織」

7＝すべての子どもを地域で育てる

- ・星久喜地区部会「地域親子レクリエーション」「地域ボランティア活動（地域美化活動）」

10＝地域による子ども教室

- ・中央東地区部会「子どもの広場」
- ・千草台東小学校PTA、ボランティアの母親たち「わくわくキャンパス」
- ・川戸故郷づくりの会「蛍の観賞」「蓮見会」「菊見会」「凧づくり教室」「凧揚げ大会」

「都川の美化活動」「コーラス」

- ・星久喜地区部会「書き初めの練習会並びに展示会」「おとまり I N昭和の森、日本伝統文化体験生け花に挑戦」

12＝子ども会の充実

- ・白旗台地区部会「活動補助金支給」（大巖寺小、大森小、宮崎小、放課後子ども教育実行委員会）
- ・蘇我地区子ども会、育成連絡会「夏休みお泊り会」
- ・葛城中学校区子ども会「クリスマス会」「ダンボールキャンプ」「子ども書初展」

15＝子ども相談応援隊の訪問体制づくり

- ・白旗台地区部会「悩み相談」（青少年育成委員会、民生委員児童委員、主任児童委員）

19＝社会福祉施設でお手伝い

- ・白旗台地区部会「あかいの郷（特別養護老人ホーム）訪問」
- ・川戸地区部会「老人ホームの納涼祭にボランティアとして協力」

22＝地域内行事参加の啓発活動

- ・東千葉地区部会「知的障害者授産施設の社会参加支援」

28＝地域で福祉に関する講座・ボランティア講座等の受講機会を提供

- ・生浜地区部会、青少年育成委員会「高齢者と中学生ボランティアとのふれあい」

30＝障害者との継続した、ふれあいづくり

- ・松波地区部会「障害児に対するクリスマスプレゼント」

34＝福祉施設等と住民の連携

- ・白旗台地区部会「赤かぶ園（老人施設）との交流の場づくり」
- ・東千葉地区部会「地区内有料老人ホームの入居者との交流」、「社会福祉法人九十九会 まあるい広場との交流」

41＝中学校区相談・情報センター

- ・川戸地区部会「生活相談」

43＝わかりやすい情報の集約

- ・白旗台地区部会「クラブ活動PR運動」

46＝地域での福祉教育

- ・白旗台地区部会「ボランティア講座の開催」

48＝防犯安全運動の推進

- ・白旗台地区内自治会「防犯教室の開催」

50＝町内自衛防災活動

- ・白旗台地区内自治会「防災体制の確立」

51＝バリアフリーのまちをつくる

- ・白旗台地区部会「まちのバリアフリーを進める」

(2) ②計画に合致していないが、関連して実践されている項目

18＝ドッキングプレイス

- ・生浜地区部会「しめなわづくり」
- ・白旗台地区部会「マッシュROOMサロンの開設」
- ・川戸地区部会「餅つき大会」「夏季キャンプ」「子ども会まつり」

- ・星久喜地区部会「秋とながよし」「昔遊び」

32＝福祉のまちづくりの啓発

- ・白旗台地区部会「ふれあい広場の開催」

(3) その他

- ・統合されて内容が変更されているものや、更新されたものがある
- ・委員の皆様については、今後も引き続き情報提供願いたい。

※「議題1」に関する意見等は次のとおり。

意見：委員長（中央区町内自治会連絡協議会）

- ・9月4日に第4回千葉市地域福祉計画推進協議会が開催され、6区のうち3区の推進状況について報告があった。
- ・実践事例の追加情報については、他区も集まらないの状況である。
- ・中央区の場合は、16地区部会長全員へ追加要請（中央区地区部会連絡会の場）したが、委員の皆様にも同様に再度お願いしたい。
- ・追加実践事例の情報提供は「資料4」を使用願いたい。

議題（2）千葉市地域福祉推進モデル事業の実践例の報告について

※事務局（社会福祉協議会中央区事務所）より、趣旨等について説明。

- ・昨年度から2年間において、「自助、共助」による地域全体で支え合い助け合う活動を位置付けた「区地域福祉計画」を具体的に実践していくために、取組項目を実践する団体に対して助成を行う「地域福祉推進モデル事業」を実施している。
- ・中央区は4地区部会が選出され、本日はその内「松ヶ丘地区部会、寒川地区部会」より、事業の内容を配布資料に沿って説明いただく。

ア 千葉市社会福祉協議会 松ヶ丘地区部会（別添、資料参照）

- ・地域は県営住宅ができた後に、周辺に家屋が建ち並んだ地区である。
- ・中学校区単位で行事を実施しており、盆踊り、体育祭、敬老会等が主な行事であるが、敬老会については対象者の増加により松ヶ丘小及び仁戸名小の2小学校に分けて開催。
- ・地区の高齢化率は22.9%（超高齢化社会）であり、千葉市19.2%や中央区19.6%を大幅に上回っている状況にある。
- ・参考として、65歳以上の単身世帯は449世帯であり、その内70歳以上の方は350世帯となっている。
- ・事業の開始に当たり、昨年10月に淑徳大学と「モデル事業推進会議」を設置し、協議を重ねており、今年は高齢者の意向調査や対象者・ボランティア数を確認した。
- ・今月にはボランティア会議を開催し、支援項目ごとのグループ分け等を実施した。
- ・今後はボランティア研修会の中で、事業の見直しを検討するとともに、懸案事項（対象者や支援項目の拡大）についても検討したい。
- ・ひとり暮らしの高齢者に対する支援としては、「医療機関への送迎、買い物、庭木の枝落とし、話し相手」等である。
- ・事業の特色は、福祉活動の一層の充実・向上が期待されているため、淑徳大学看護学部と連携していることであり、「敬老会、いきいきサロン、ほのぼの育児サークル、ボランティア講習会等」にも参加頂き、また今回の事業についても3名の学生が参加したいと

の要望があった。

- ・今後も、この事業が問題なく展開できるよう、地域全体で取り組んでいきたい。

イ 千葉市社会福祉協議会 寒川地区部会（資料なし）

- ・高齢者の方を安心・安全の確保のために、地域住民で守るため、「安心・安全カード」を作成することとし、地域内の高齢者は８８４名いるが、５５９名分を作成し対象者の方にカードを交付した。
- ・５５９名の内訳は「６５歳以上＝１５８名、７０歳以上＝２４８名、９０歳以上＝１１名、寝たきり＝６５名、一般＝５８名、その他１９名」である。
- ・カードの内容は「氏名、生年月日、住所、連絡先、担当民生委員、自治会長、子ども・親族の氏名や住所、掛かり付け病院や服用薬」等の個人情報も含まれているが、本人の了承の下記載したカードとなっている。
- ・カードは、いつでも目の届く場所に置くよう依頼した。
- ・最近の話であるが、「８４歳と７７歳の世帯で、夫８４歳がトイレから出て来ず、妻は隣近所に救いを求めたがドアが開かず、最終的にはレスキュー部隊により救出した事例がある。その際、妻はパニック状況のため親族への連絡先を確認するのに、安心・安全カードが役立った」ものである。
- ・今月２５日には実行委員会を開催し、内容を再チェックするとともに、民生委員の方たちの協力を頂き、要援護者の情報確認を実施する予定である。

※「議題２」に関する質疑応答等は次のとおり。

Q 1 : 委員（千葉市社会福祉協議会中央地区部会）

「安心・安全カード」を作成するにあたり、掲載内容の個人情報ほどの様に了解を得たのか。

A 1 : 委員（千葉市社会福祉協議会寒川地区部会）

対象者の方には、自身の身の安全を守るためのカード作成なので、ご理解ご協力願いたいと説得したものである。

Q 2 : 委員（千葉市社会福祉協議会中央地区部会）

当地区部会でも現在、要援護者名簿等を作成しているが、個人情報の取り扱いについては苦慮している。

寒川地区部会の場合、対象者からの了解は口頭なのか文書によるものなのか。

A 2 : 委員（千葉市社会福祉協議会寒川地区部会）

口頭によるものである。

Q 3 : 委員（千葉市社会福祉協議会中央地区部会）

個人情報を、災害時等の救助のために使用するとの了解となるのか。

A 3 : 委員（千葉市社会福祉協議会寒川地区部会）

そのとおりであり、対象者の方には個人情報は担当民生委員等の方のみに見せることなどを説明して了解いただいた。

意見：委員（千葉市社会福祉協議会西千葉地区部会）

当地区部会では、平成１９年度のパイロット事業の中で「安心・安全カード」を作成し、関係者の中では喜ばれており、この情報を「寒川地区部会」に提供した。作成に当たり多くの方の協力を頂いたが、個人情報はあまり問題にならなかった。

議題（３）区地域福祉計画の見直しについて

※事務局（市保健福祉サービス課）から、配布資料２「計画見直しの基本方針について」及び配布資料３「中央区地域福祉計画の取組項目の現状とその問題点及び修正案作成シート」について説明。

また前段として、参考資料「中央区地域福祉計画推進協議会作業部会について」を用いて説明。

- ・第１回（９月１６日）：今後のスケジュール案の検討、基本方針について協議。
- ・第２回（９月３０日）：現計画の見直し、Ｂ項目の自助・共助・公助の選別を協議。
- ・第３回（１０月７日）：現計画の見直し、Ａ・Ｃ項目の自助・共助・公助の選別を協議。

①作業部会での見直し検討状況について

配布資料２「計画見直しの基本方針について」説明。

- ・地域住民が実践できるもの、実践できないものを整理する。
- ・地域住民が実践できるものについて詳細化する。
- ・現状に則した修正を行う。
- ・区としての重点項目を設ける。

配布資料３「中央区地域福祉計画の取組項目の現状とその問題点及び修正案作成シート」について説明。

- ・現計画の見直しとして、「Ａ＝継続して推進する、Ｂ＝共助だけでなく公助についても検討し推進する、Ｃ＝他計画へ転換し推進する」に、作業部会で分別した。
- ・作業部会において検討した内容の一部「事務局案から作業部会で変更した項目」のみ説明。

◎Ａ：継続して推進する（５１事業のうち１８事業）

- ・１１＝クラブ活動ＰＲ運動（事務局案ＢからＡへ）
全地区部会で実施しており、地域内での各クラブ開催状況などの一覧表を作成し、全戸配布を検討しているため、引き続き実施していくものであるため。
- ・１４＝子育てサロンの充実（事務局案ＢからＡへ）
公助としては、保健師・保育士等の派遣など人材面での支援も検討する必要があるが、地区部会が主体となって対応可能なため。
- ・１９＝社会福祉施設でお手伝い（事務局案ＢからＡへ）
既に実施しており、今後も継続して推進していくため。
- ・４２＝福祉マップ、福祉情報誌（事務局案ＢからＡへ）
既に実施しており、今後も継続して推進していくため。
また、各地区部会で実践されているが、情報収集・地図作成・配布等には費用がかかるため、財政的支援も今後は考慮すべき項目である。
- ・４７＝学校安全ボランティア活動の推進（事務局案ＢからＡへ）
既に実施しており、今後も継続して推進していくため。
- ・４８＝防犯安全運動の推進（事務局案ＢからＡへ）
既に実施しており、今後も継続して推進していくため。

◎Ｂ：共助だけでなく公助についても検討し推進する（５１事業のうち１０事業）

- ・５＝見守り体制をつくる（事務局案ＡからＢへ）

現在、市が策定中の「千葉県災害時要援護者支援計画（案）」との関連を含め、検討が必要であるため。

- ・ 10＝地域による子ども教室（事務局案AからBへ）
放課後、子ども事業の実施など、継続した行政の支援が必要であるため。
- ・ 16＝イベントを通じた地域交流の推進（事務局案CからBへ）
障害者団体の横の連携等、共助のみだけではなく、公助も必要であり、他計画に相応しい事業等がないため。
- ・ 22＝地域内行事参加の啓発活動（事務局案CからBへ）
障害者に参加を呼び掛ける仕組みづくり等、共助の部分があるため。
- ・ 41＝中学校区相談・情報センター（事務局案CからBへ）
区社協や保健福祉センターを相談・情報の拠点として構築する必要があり、共助の部分があるため。
- ・ 43＝わかりやすい情報の集約（事務局案CからBへ）
福祉マップを利用するなど、行政と地域住民が一体となって行うため。
- ・ 45＝家庭での福祉教育（事務局案AからBへ）
公助で「福祉教育ハンドブック」の作成、配布をするなどの支援が必要であるため。
- ・ 51＝バリアフリーのまちをつくる（事務局案CからBへ）
バリアフリーのための点検には、行政のみならず地域住民の共助も必要であるため。

◎C：他計画へ転換し推進する（51事業のうち23事業）

- ・ 25＝一時的な子育てを地域ぐるみで支援する（事務局案BからCへ）
ファミリーサポートセンターや一時保育など、子育て中の親に対する支援を活用する必要があるため。
また、地域ぐるみでの支援という理念は良いが、現実には子育て中の親に対し、行政が制度として支援していくことが馴染むため。
- ・ 26＝地域における若者自立支援運動（事務局案BからCへ）
地域の支援では限界があり、行政支援として推進する必要があるため。
また、民生委員でも家庭状況を把握するには限界があり、相談体制を充実する必要があるため。

◎項目の統合

- ・ 3＝シニアボランティアの登録制度の創設
- ・ 37＝地域ボランティアの拠点づくり（再掲）
「シニア」と特定の者として捉えず、地域ボランティアの一形態として、「2＝地域ボランティアの拠点づくり」の取組項目と統合する。
- ・ 4＝世話役さん
社協地区部会の福祉活動推進員の活動など、現に世話役さんの役目を担っている者がいるため、「36＝世話役さん（再掲）」の取組項目と統合する。
- ・ 34＝福祉施設等と住民の連携
内容が同様であるため、「31＝市民のボランティア体験・障害者とのふれあい

づくり」の取組項目と統合する。

②新たな提案について

取組項目の追加がある場合は、資料4「追加項目提案シート」にて、FAX等で事務局へ11月13日までに提出を依頼した。

※「議題3」に関する質疑応答等は次のとおり。

Q1：委員（千葉市社会福祉協議会松ヶ丘地区部会）

作業部会での取組内容について、A～Cの分類定義が微妙であるが、公共的事業や共助的事業のウェートによって分別したのか。

A1：副委員長（千葉市社会福祉協議会東千葉地区部会）

作業部会として、取り組みの内容から考慮して精査した。

ウェートによるものではなく、「自助・共助だけでは進まないものはBとした」ものである。

Q2：委員（千葉市社会福祉協議会松ヶ丘地区部会）

B-5「見守り体制をつくる」については、現状では10地区部会が既実施しており、事務局案Aが作業部会でBに変更となっており、理由として、市が策定中の「千葉市災害時要援護者支援計画（案）」との関連を含め検討が必要であるためとのことであるが、具体的に説明願いたい。

A2：委員長（中央区町内自治会連絡協議会）

この項目については、各地区部会の継続で十分取り組まれていることと思う。

現在、「千葉市災害時要援護者支援計画（案）」についてパブリックコメント中であり、町内自治会や防災組織がある地区への負担増加が見込まれる。

この取組内容については、狭い範囲ではなく広く、捉える必要性があることから、両方（共助、公助）で取り組む観点からBとした。

Q3：委員（千葉市社会福祉協議会寒川地区部会）

B「共助だけでなく公助についても検討し推進する」への分別をもっと詳しく聞きたいが、事業を推進したくても資金がなければできないものと思う。

A3：委員長（中央区町内自治会連絡協議会）

事業によっては「他計画へ転換する」方法もあるが、公助としての期待感もある。

事例として「放課後子ども教室」で考えた場合、この事業はどこ地区でも実施しており行政からの助成金の交付もあるのが現状である。

しかし、助成金の交付など行政からの支援が無くなった場合、事業の継続が可能か検討が必要となるので、両方（共助、公助）で取り組む観点からBとした。

Q4：委員（千葉市社会福祉協議会西千葉地区部会）

A-9「お年寄り向けのスポーツクラブ活動」での現状の中、当地区内自治会が実施している「ウォーキング大会」は「グランドゴルフ」へ修正願いたい。

また本日の「資料1」についても同様に修正願いたい。

A4：事務局

修正いたします。

Q5：委員（千葉市社会福祉協議会西千葉地区部会）

地区として実施している事業が掲載されていない場合は、新たに事務局へ提出するの

か。

A 5 : 委員長 (中央区町内自治会連絡協議会)

本日の資料4「追加項目提案シート」にて提出願いたい。

Q 6 : 委員 (中央区町内自治会連絡協議会)

参考資料の「中央区地域福祉計画推進協議会作業部会作業スケジュール(案)」について、具体的な話を確認したい。

A 6 : 事務局

推進協議会では今年度中には「次期計画素案」の検討をしたい。

また来年度は、「計画素案の確認・修正、市民説明会、パブリックコメント、策提案の見直し、最終案を確定」を実施する予定。

また作業部会では今後、「取組項目の選別確定、追加項目の検討、重点項目の選別」や「次期計画の骨子案の作成・検討」の内容を推進協議会に諮る予定である。

Q 7 : 委員 (中央区町内自治会連絡協議会)

地域福祉計画の内容は、重点項目等も決めて良い方向でとり纏まっていくのか。

A 7 : 事務局

今年12月までには、重点項目の選定など計画の骨子についても検討していくので、良い方向でとり纏まっていく方針である。

議題(4) その他

※事務局(市保健福祉サービス課)より報告。

①次回開催日程について

- ・第3回の推進協議会については、平成21年12月16日(水)午前10時から開催する。
- ・各委員より、了承されたため開催時期は確定した。

※事務局(社会福祉協議会中央区事務所)より報告。

②今年度の地域福祉計画推進協議会だよりについて

- ・「推進協議会だより」は例年、年2回発行しているが、今回は第7号を作成する。
- ・掲載内容は、6月23日に開催した第1回目及び本日の議事内容を中心とし、委員の方が昨年と変動しているため、委員名簿を掲載する。
- ・また地区部会の紹介として「中央地区部会、新宿地区部会」の2地区とし、各委員から提出頂いた活動表を掲載する。

※事務局(社会福祉協議会中央区事務所)より報告。

③千葉県地域福祉フォーラム設置支援事業について

- ・昨年度の段階では市内62地区部会のうち、45地区部会が申請をしており、そのうち中央区管内は全ての16地区部会が承認され事業を推進した。
- ・今年度についても、中央区管内は14地区部会が事業を継続申請しており、他区についても6地区部会が新規申請している。
- ・今後、事業の内容については地区部会との協議により、推進協議会の場において報告することとしたい。

以上